

## 「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

<b>助成コース</b>	活動継続助成 ・ 活動発展助成 ・ フードパントリー・宅食応援助成
<b>活動名</b>	ハレとケひろば
<b>団体名</b>	ハレとケ
<b>この活動で取り組んだ地域の課題や背景</b>	行政による子育て支援には限界があり、そこから漏れてしまう部分をいくつかの民間団体が協力しながら埋める活動をしている現状があります。子どもは子ども、お年寄りはお年寄り、不登校のお子さんは不登校のお子さん、というようにそれぞれが孤立してしまっていることを課題に感じておりました。
<b>この活動の目的</b>	地域の方々の老若男女の交流、それにより助け合えるコミュニティ作り
<b>活動の対象</b>	親子、不登校のお子さん、子育て中のママ、地域の方（お年寄り）
<b>実施内容</b>	10月（4回）新米のおむすび作り、ピザ作り、がんもどき作りなど 11月（4回）新米とごはんのお供作り、釜揚げうどん、クリームシチュー作り 12月（2回）お餅つき、キムチ作り 1月（2回）お蕎麦、お雑煮 2月（2回）味噌作り、肉まん作り 3月（1回）野草のかき揚げうどん 4月（2回）たけのご飯、よもぎ餅作り 5月（2回）たけのご飯、柏もち作り
<b>活動実施後の成果</b>	未就園の親子が来ることが多かったのが、少しずつお声がけをすることで、地域の老若男女が来てくれるようになり、「地域の居場所」としての機能を感じ始めたところです。活動の中でお年寄りが子どもたちの相手をしてくれたり、子育て中のママにアドバイスをしてくれたり話を聞いてくれるなどの交流の姿が多くみられるようになりました。
<b>今後の展望や新たに目えてきた地域課題</b>	まだまだ地域には、人、場所共にその特技や機能をマッチングすることで解決に向かう課題が多くあると思っています。 そこを発掘し、活かすことで課題が解決したり喜ぶ人がいたり助かる人がいることが想像できるので、そういったマッチングの方法を模索していきたいです。
<b>寄付者への一言（※）</b>	今回助成を頂いたことで、参加者の方の参加費というハードルを下げながらたくさんの美味しい時間を提供することができました。大変ありがたく思っています。
<b>自己評価</b>	A. 目標を超える成果を得ることができた <input checked="" type="radio"/> B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他（ ）

# 「いばらき子ども食堂応援成」活動報告書



**いばらき子ども食堂応援助成  
決 算 書**

<b>団体名</b>	ハレとケ
<b>活動名</b>	ハレとケひろば

区分	科目	内容	単価	×	数量	=	金額	計	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額	予算（うち助 成金充当額）	予算対比	
収益	受取助成金等	いばらき子ども食堂応援助成	¥100,000	×	1 式	=	¥100,000	¥100,000					
	自主 財源	受取会費	¥500	×	100	=	¥50,000	¥50,000					
	<b>経常収益計</b>							<b>¥150,000</b>	<b>¥150,000</b>				
費用	消耗品費	食材費	¥7,000	×	19	=	¥133,000	¥133,000	¥100,000	¥33,000	¥100,000	¥0	
	賃借料	場所借代	¥1,000	×	17	=	¥17,000	¥17,000	¥0	¥17,000	¥0	¥0	
	<b>経常費用計</b>							<b>¥150,000</b>	<b>¥150,000</b>	<b>¥100,000</b>	<b>¥50,000</b>	<b>¥100,000</b>	<b>¥0</b>
当期経常 増減額								¥0	¥0				